

リーディングDXスクール事業【実践事例】

石垣市立石垣第二中学校（沖縄県）【指定校】

【取組内容】 自立した学習者の育成を目指した授業改善（個別最適な学びと協働的な学び）

二中の目指す生徒像（自立した学習者）

- ①課題解決に必要な知識・技能を習得する生徒 ②課題を見つけ、解決策を考え、表現できる生徒
③課題を持ち、粘り強く主体的に解決できる生徒

目指す生徒像の実現に向けて、これまでの一斉授業から「個別最適な学び・協働的な学び」への授業改善を、以下の3つの視点で全教科統一して行っている。

1. 授業の流れを細かく示す（Classroom）

- 教師主体の時間が減り、生徒の活動時間が増える
- 細かく示すことで、迷わずに課題に取り組むことができる。
- 欠席した場合も、後日課題に取り組むことが可能

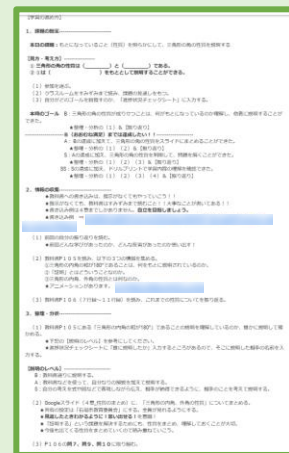
2. 学び方の指導（個別最適な学び）

- 個別最適な学びを最大限に発揮できるように、学び方を指導（①時間配分 ②教科書の活用の仕方 ③資料の読み取り方 ④振り返りの書き方）

3. クラウドを活用した他者参照（協働的な学び）

- 困ったときはすぐに多くの他者を参照できる
- 安心して課題に取り組むことができる

細かく流れを示すことで**個別に学習を進める**ことができる。



様々な教材を用意することで、自分にあった**教材を選ぶ**ことができる。



課題に応じて**協働する他者を選ぶ**。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

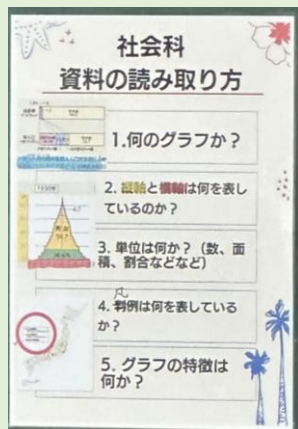
石垣市立石垣第二中学校（沖縄県）【指定校】

【取組内容】 探究のサイクルと情報活用能力

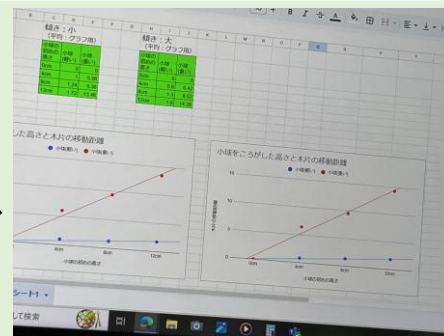
1. 探究のサイクルに沿った授業展開

生徒が迷わずに課題に取り組むことができるよう、探究のサイクル「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」に沿った授業展開を全教科で統一して実施した。このように授業を展開していく中で、教科の特性を活かした様々な情報活用能力の育成が行われている。

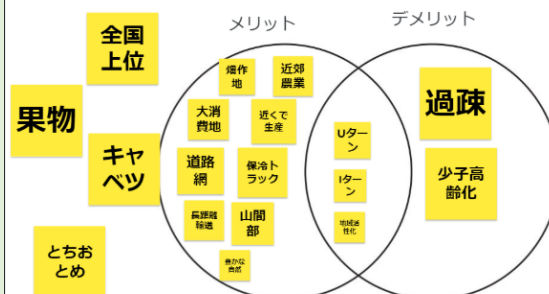
情報の収集の基本である教科書・資料の読み取り方を指導。



集めた情報を**整理・分析**できるようにするために、様々な整理・分析の方法を指導。



めあて：東京大都市圏以外の地域の特徴とは何だろう？



**実験データを
グラフにして
整理・分析
(理科)**

**収集した情報をベン図で整理・分析
(社会)**

リーディングDXスクール事業【実践事例】

石垣市立石垣第二中学校（沖縄県）【指定校】

【取組内容】 クラウド活用で校務DX

1. データのクラウド保管・共有

- ペーパーレス・時間短縮
- 提案のギリギリまで編集可能
- 複数人で同時に編集可能・時間短縮

2. LDX実践共有スペース（Google Chat）の活用

- 気軽な情報共有
- 一人の百歩よりもみんなの一步

3. 三者面談の予約システム（Googleサイト）

- 日程がすぐに決まる⇒業務改善

4. 校内研修

- 授業で活用するツールを校内研修で活用
- 教師自身がクラウド環境に慣れる
- クラウド活用で他者参照が可能

LDX実践共有スペース



三者面談予約システム



校内研修（授業と相似形）

